

共通教育科目カリキュラム・マップ

学習基盤・キャリア科目

日本語力と論理的思考力の育成、主体性や自主性の育成（学習基盤）
 大学では、与えられた課題に取り組むだけでなく、課題そのものを発見し、解決に向けて主体的に取り組むことが求められます。学習基盤科目では、大学4年間の学びを確実なものにするために、アカデミックスキルと言語力を身につけ、論理的思考力を高めることを目指します。これまでの学修履歴や現在の興味・関心、将来的な目標に応じて、科目を選択して履修することができます。

卒業後の進路を見据えた社会人基礎力の育成（キャリア）
 キャリア科目を通じて働くことの意義を理解し、自分に適した仕事を見つけ、社会に貢献していく準備を整えます。自分の能力や特徴を把握するとともに、社会人としてのアイデンティティの確立のために必要な知識や技術、職業倫理を身につけることができます。

教養コア科目／教養アドバンスト科目

広い視野と柔軟な思考力の育成
 教養コア科目では、様々な分野の科目を履修することで、状況把握力、健康管理能力、ストレスコントロールなど、大学生活に必要な能力を身につけます。教養アドバンスト科目では、専門外の分野をより深く学ぶことで、意見の違いや立場の違いを理解できる柔軟な思考力を身につけることができます。また、自分の目指す道や人生の目的を模索して自己を社会的に位置付けるとともに、深く考え、適切に判断し、自らの責任で行動する力を獲得します。

言語系科目

工学系の学びの基礎固め（言語系・理数系科目）
 言語系科目と理数系科目では一部クォータ科目を導入して、工学に必須の基礎を効率的に学びます。

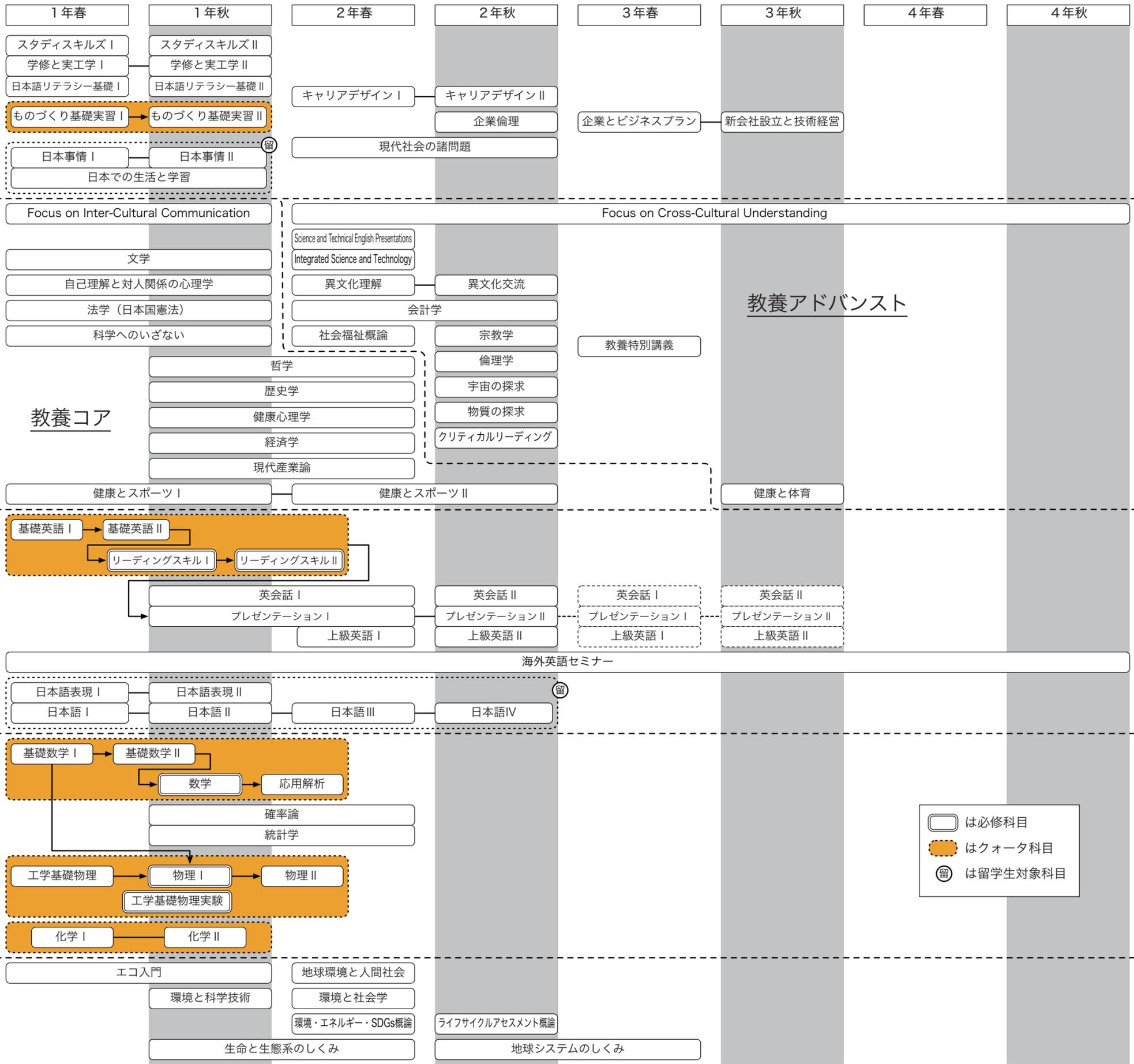
言語系クォータ科目では、工学についての論文を読むのに必要な基礎的な英語力と論理的思考力を身につけることができます。さらに、上位の英語系科目を修得することで、国際的に活躍するエンジニアに必要な英語コミュニケーション力を身につけます。

理数系科目

理数系クォータ科目では、工学を学ぶ上で直接必要な数学・物理・化学に触れ、基礎となる概念を理解し、それらを工学に応用できるようになることを目指します。さらに、上位の理数系科目を履修することによって、より高度な工学の研究、例えば大学院での研究に必要な能力を獲得することができます。

環境系科目

環境共生社会への貢献
 環境系科目を履修することで、環境共生社会に貢献するための基礎知識が身につきます。環境問題について具体的に・総合的に考えることができ、自らの意見や考えを発信することができるようになります。



 は必修科目
 はクォータ科目
留 は留学生対象科目

共通教育の目標

- ・ 大学で深く学び、社会人としてのアイデンティティを確立し、主体的に学ぶ力と社会人基礎力を身につける。
- ・ 実工学の学びに必須の基礎を身につける。
- ・ 生涯を通して知的で豊かな生活を送り、多様な視点で環境共生社会に貢献できる教養を身につける。